



【学園教育目標】
未来を志向し、心豊かにたくましく生きる学園生の育成
～「学びをつなぎ、心をつなぐ」小中一貫教育を通して～

<本県教育目標>
ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し、協力しあう
心を育てる

【学校経営の方針】
共に学び、共に磨き、共に育ち、共に拓く学園づくり

<つくば市の目指す
学園・学校像>
みんなが幸せを実感できる
学園・学校
～自己実現できる学校・み
んなで支え合い、みんなが
生き生きとした学校～

学園生像 【自律・共創・大志】

- ◎自分を見つめ、未来を見つめ、自ら学び、自ら考え行動できる学園生(自律し挑戦する)
- ◎心豊かに誠実に行動し、共に未来を創造できる学園生(協働し共創する)
- ◎夢や可能性に意欲的に挑もうとする活力に満ちた学園生(大志を抱き創造する)

教師像
◎熱意と愛情をもち生徒に寄り添う教師
◎指導力と実践力のある教師
◎未来を見つめ、改革意欲のある教師

学園像
◎学園生が「志」に向かって輝く学園
◎教師が「やりがい」をもてる学園
◎保護者や地域から「信頼」される学園

スクールモットー
【挑戦・協働・創造】

組織目標
◎未来を志向し、「能動的な学び」の具現化を図る授業づくり
◎一人一人が「自己決定」し、共に夢や可能性に挑める集団

9年間で育む
学森の大樹

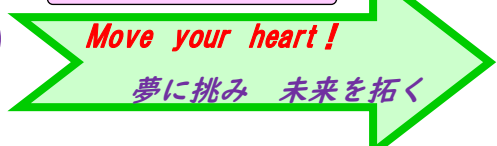


【未来を
たくましく、
しなやかに生きる力】

<2026教育の重点>

◎系統的な認知・非認知能力の育成
～自分と向き合い、他者とつながり、
自分を高める～

学園スローガン



「学びに向かう」プロジェクト	「豊かさ・しなやかさ」プロジェクト	「たくましさ」プロジェクト
【重点目標】	【重点目標】	【重点目標】
<ul style="list-style-type: none"> *「能動的な学び」への具現化を図る授業づくり ◆探究的・協働的な学びの実現に向けた授業づくり <ul style="list-style-type: none"> ・知的好奇心を高める課題の工夫 ・「問いの発見」、「アウトプット」、「まとめ」、「振り返り」を重視したPBL型学習の充実 ・未来を拓く探究タイム(特設学習、SDGsクラブ) ◆「個別最適な学び」の充実に向けた教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・思考を広げ、深めるためのICTの利活用 ・生成AIや遠隔教育事業の活用 ◆つくばスタイル科を核とした教科横断型の学習やSTEAM教育の推進(地域教育資源の有効活用) ◆義務教育学校の特色を生かした教育活動 <ul style="list-style-type: none"> ・3年生からの一部専科授業 ・5、6年生における教科担任制の充実 ・6、7年生における協働的な探究活動 ・中・後期ブロックの教員の交流 ◆「教育支援計画」を活用した「切れ目のない」特別支援教育の充実(専門家との連携) ◆個別の指導計画に基づいた合理的配慮 	<ul style="list-style-type: none"> *互いを尊重し合える人間関係の醸成 *「自己決定」できる集団づくり ◆9年間のつながりを意識した教育活動 <ul style="list-style-type: none"> ・「夢を実現」する系統的なキャリア教育 ・ブリッジプロジェクト(4、7年)の実施 ・非認知能力を育む豊かな体験学習及び系統的な生活ノート(学森プランナー等)教育の充実 ◆縦割り班活動を核とした自治的行事 ◆自治能力の育成を目指す学園生徒会活動 ◆「リーダー研修会」を核とした自治的行事 ・有志による学園生徒会活動「虹の架け橋隊」 ・いじめゼロフォーラムの実施 ◆共に創り上げる話し合い活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・合意形成力を育むルールメイキング ・未来を志向し、非認知能力を高める学校行事 ◆学園行動目標を生かした自主性・自律性の育成 ◆「折れない心」の育成と組織を生かした教育相談 ◆柔軟な指導体制による道徳教育 	<ul style="list-style-type: none"> *健康で安全な生活を送る体力づくり *安全・安心な環境づくり ◆健康教育プログラムの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・「早寝早起き朝ごはん」プロジェクトの推進 ・栄養教諭による計画的な食育指導の充実 ・目の健康(学森あいあいタイム)の実施 ◆非認知能力を育む体力向上プログラムの実践 <ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた年間を通じたプログラムの実践 ・目的意識を持たせた体育の授業、部活動の充実(6年生の体験活動) ・部活動地域展開の推進(学森SCの設立) ◆地域と学校の協働による探究的な体験活動 ◆系統的な安全教育の実践を通じた自己管理能力の育成 ◆事故の未然防止と組織での迅速な初期対応 ◆保護者・地域と連携した防災教育、安全教育、情報モラル教育等の充実 ◆教職員によるシミュレーション訓練
【数値目標◎80%以上○70%以上】	【数値目標◎80%以上○70%以上】	【数値目標◎80%以上○70%以上】
<ul style="list-style-type: none"> ◎授業で自ら学び、自ら考えをもつ(向き合う) ◎他者との学びを課題解決に生かす(つながる) ◎学習の「まとめ、振り返り」を重視する(高める) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎失敗を次に生かすことができる(向き合う) ◎相手の気持ちを考えて行動できる(つながる) ◎自分を信じ、夢の実現に挑もうとする(高める) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎前向きな気持ちで生活できる(向き合う) ◎共に健康や安全を考え行動する(つながる) ◎心身ともに成長していると思う(高める)

地域とともにある学校づくり

□地域とともに歩む学校づくり
・地域、保護者との協働体制の構築
・積極的な情報発信と学校評価の活用
・外部人材を活用した補充学習
□大学・研究機関・企業との連携

RPDCA
学校評価
CS(コミュニティ・スクール)

□教職員の資質・能力の向上
「与えられる研修」⇒「求める研修」へ
・「学びの連続性」を保障する学園研修
・業務の効率化を図る学校のデジタル化
・教員評価を生かした資質・能力の向上

働き方改革の推進
【数値目標】 超過勤務45時間/月以内
・部活動地域展開 ・末尾1hの有給休暇 ・休憩時間 ・日課の工夫

コンプライアンス意識の醸成
【数値目標】 不祥事「ゼロ」～自分たちの職場から不祥事を出さない
・当事者意識を高める研修 ・教員評価の活用 ・組織的な相談体制